

恩田重信 薬学教育者。私財を投じて明治薬学専門学校ほか2校を創立し校長を務めた。医学用語を統一した画期的辞典も。

おんだしげのぶ

遣欧使節・1861 = 信濃国松代で藩主真田家家臣の長男に生まれる。

明治維新・1868 = 7歳 :

初の日刊新聞1870 = 9歳 :

明治6年政変 1873 = 12歳 :

沖縄県編入・1879 = 18歳 : 東京大学医学部製薬学科に入学。

明治14年政変 1881 = 20歳 :

新体詩抄・1882 = 21歳 : 内務省衛生局東京司薬場に勤務後、東大を卒業し、千葉医学学校の助教諭となり付属病院調剤官を兼務。

秩父事件・1884 = 23歳 : 付属病院薬局長、

内閣発足・1885 = 24歳 : 依願免官。陸軍薬剤官試補となり、仙台鎮台病院薬剤科に仕出。

帝国大学始・1886 = 25歳 : 陸軍三等薬剤官。正八位に叙せらる。

国民之友始・1887 = 26歳 : 新発田分営重病室附。

初の対等条約 1888 = 27歳 : 新発田衛戍病院附。

帝国憲法発布 1889 = 28歳 : 仙台衛戍病院附、陸軍二等薬剤官。

大津事件・1891 = 30歳 : 松山衛戍病院附。従七位に叙せらる。

大本教・1892 = 31歳 : 広島衛戍病院附。

郡司千島探検 1893 = 32歳 : 高崎衛戍病院附。

日清戦争始・1894 = 33歳 : 動員され、第一師団衛生予備廠附となり、日清戦争に出征。

日清戦争終・1895 = 34歳 : 大本営附となり、台湾総督府陸軍局軍医部附、陸軍一等薬剤官。勲六等単光旭日章、従軍記章を賜る。

白馬会・1896 = 35歳 : 名古屋衛戍病院附。正七位に叙せらる。

八幡製鉄始・1897 = 36歳 : 休職して、医学用語統一をめざして、辞典づくりに取組み、

台湾総督府時代に知己を得た森鷗外の序文も得て、

び7/国産化・1900 = 39歳 : *「独和他国字書大全」、

教科書疑獄・1902 = 41歳 : 予備役編入、従六位に叙せらる。*「独和新医学大辞典」などの大部の著作をした後、東京薬学専門学校を設立して、初代校長に就任。

日露戦争始・1904 = 43歳 : 予備召集され、近衛師団衛生予備廠附となって、日露戦争に出征。病気のため帰国し、広島予備病院に入院。東京予備病院渋谷分院転院後、退院して、東京第二衛戍病院附、東京予備病院附、同世田谷分院附、東京予備病院戸山分院附。

日露戦争終・1905 = 44歳 :

満鉄発足・1906 = 45歳 : 召集解除。陸軍三等薬剤正。勲五等に叙せられ、双光旭日章を賜る。

韓国反日暴動 1907 = 46歳 : 東京女子薬学校を設立し、初代校長に就任。

明治天皇没・1912 = 51歳 :

21ヶ条要求・1915 = 54歳 :

ハルビン条約・1919 = 58歳 : 東京女子薬学校校長を退任し、

大暴落・1920 = 59歳 : 財団法人明治薬学校理事長に就任。

原敬首相暗殺 1921 = 60歳 :

関東大震災・1923 = 62歳 : *明治薬学専門学校の初代校長に就任。直後、関東大震災により校舎を焼失、再建資金調達に全国行脚。

護憲三派圧勝 1924 = 63歳 :

円本時代始・1926 = 65歳 : 財団法人明治薬学専門学校理事長を退任。

共産党事件・1928 = 67歳 : 昭和天皇即位の大礼に際し、教育功勞者として表彰される。

満州事変・1931 = 70歳 : 財団法人明薬学園総理に推戴される。

五一五事件・1932 = 71歳 : *明治薬学専門学校校長を退任し、引退。

国際連盟脱退 1933 = 72歳 :

日中戦争始・1937 = 76歳 :

大政翼賛会・1940 = 79歳 : 紀元二千六百年記念祝典に際し、教育功勞者として勲四等に叙せらる。

日米開戦・1941 = 80歳 :

1942 = 81歳 :

年金+総武装 1944 = 83歳 : 郷里長野県松代に疎開。

新憲法施行・1947 = 86歳 : 郷里の生家で没した。

インターネット「明治薬科大学」ホームページ、